

積算・見積ソフト導入により業務の効率アップを実現

～CAD図面から積算・見積連動実現に向けて～

積算・見積ソフト「見積CRAFT(クラフト)2010 シリーズ」

高柳電設工業株式会社

所在地:福島県郡山市

資本金:2,500万円

主な事業内容:総合電気工事業(送電設備・変電設備・配電設備・建築内線設備・電気通信設備・消防施設設備)

URL:http://www.takayanagidensetu.jp/



営業部 副部長 佐々木 裕美氏
営業部 積算課 係長 先崎 謙氏
主任 大槻 尚氏
鈴木 康子氏
吾妻 昌学氏

高柳電設工業株式会社は、昭和23年創業、地場大手の電気設備工事会社。豊富な実績と最新の技術を生かし、各種電気設備の新設や増改修などの企画提案から設計施工およびメンテナンスまで総合的にサポートする。そのフィールドは大型の送電設備にとどまらず、一般の企業をはじめ官公庁、商業施設、文化施設、個人住宅と多岐にわたる。

見積CRAFT2010シリーズ導入前の状況は？

従来の積算・見積業務は、それぞれの担当者がそれぞれの積算・見積ソフト(見積CRAFT旧バージョンを含む)を使用しており、当社には、複数の積算・見積ソフトが混在していました。

もちろん、各ソフト間での互換はなく、1物件につき、ひとりの担当者が対応せざるをえない状況で、忙しい人と、そうでない人が発生していました。

そこで、本業務の効率アップを図る解決策の1つが、“1物件に対し、複数人で手分け作業を行う”でした。それには、“積算・見積ソフトの社内統一を目指す。”という結論に

至りました。以降、複数の積算・見積ソフトを候補に挙げ、検証した結果、見積CRAFTの導入を決定しました。

なぜ「見積CRAFT」に決めたのか？

まずは、操作性です。見積書が完成するまでの操作がとてもシンプルで簡単でした。部材を選択、数量を入力だけで見積書が完成します。必要な労務費、付属品、雑材消耗品等は自動で計算されるので、見積書内に必要な項目(費用)を忘れることもなくなります。早速、新入社員にも使わせたところ、あっという間に習得しました。

次に、価格です。数ある積算・見積ソフト

に比べ、大幅に安価で、複数本必要な当社にとっては、大きな魅力を感じました。

また、価格と比較して、高機能なところもいいですね。標準機能に加え、次のような付加価値機能が満載でした。

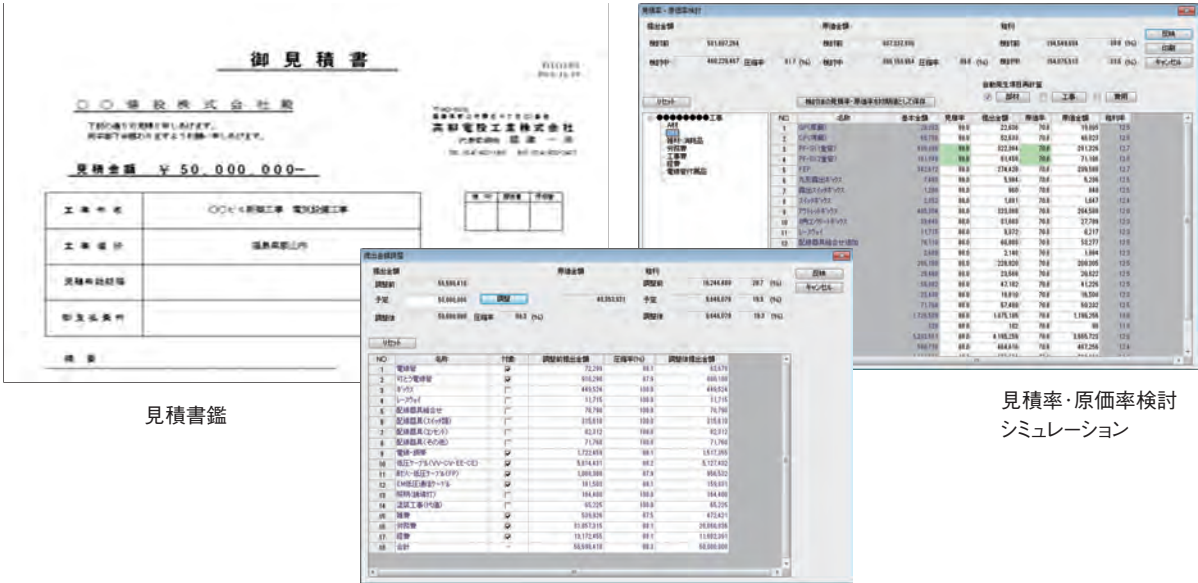
◆複合単価変更

一般見積書(材工別)をワンタッチで複合見積書(材工共)に変換でき、同時に代価表を自動で作成できるところが気に入っています。

◆シミュレーション

見積率・原価率の変更で、原価を確認しながら、提出金額を検討できます。

提出金額を直接変更でき、その際発生



見積書鑑

見積率・原価率検討シミュレーション

提出金額調整シミュレーション

する増減金額は項目(費用)を選んで調整できるので、大変助かります。

◆Excel変換

作成した見積書をExcelデータに直接出力でき、また、Excelデータの拾い表をコピー&貼り付けで見積書に取り込めるので、作業効率がアップしました。

◆CAD・積算・見積連動

四電工開発の建築設備CAD「CADEWA(キャデワ)」と「見積CRAFT」が連動し、CAD図面を見積書に連動できるところ。これは、将来チャレンジしたいですね。

実際に使い始めて

自社で作成している材料単価マスタの移植には多少時間を割きましたが、(四電工さん、マスタ移植の際、丁寧なサポート、ありがとうございました)

操作については、1日の集合教育を経てすぐに、問題なく使えました。マニュアルはほとんど必要なかったと思います。

今後ソフトに望むことは？

クライアント・サーバーによる部材マスタや物件の一括管理機能があれば、当社に

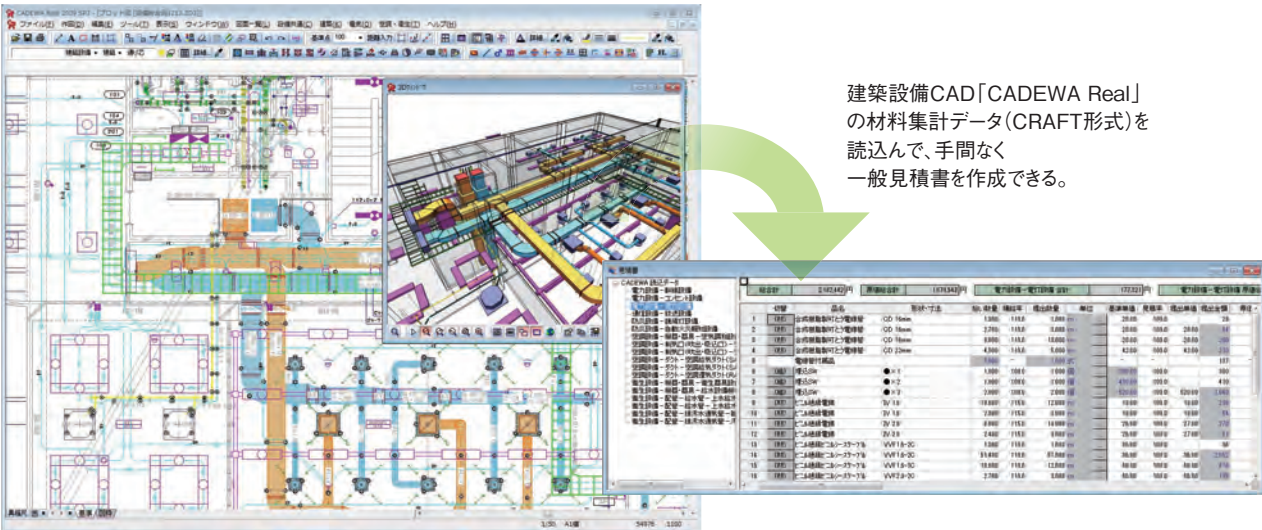
としてはありがたいです。

次期バージョン「2012」(2012年2月1日リリース)で対応予定と伺いましたので、期待しています。

最後に一言

近い将来、CADEWA+見積CRAFTによる「CAD図面からの積算・見積連動」を実現し、さらなる効率アップを図りたいと考えています。

実は、すでにCADEWAの貸出しを受け、検証の準備に入っています。



建築設備CAD「CADEWA Real」の材料集計データ(CRAFT形式)を読み込んで、手間なく一般見積書を作成できる。



実際の作業風景